

(様式 DL-M-A)

日本医療福祉教育コミュニケーション協会 (AMWE C) 認定
発達障害コミュニケーション中級指導者認定申請書

申請日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
認定申込者氏名 _____
〒 _____ 住所 (個人住所) _____
連絡先 (電話番号) _____
(ファックス番号) _____
電子メールアドレス _____ @ _____
受講講座名 _____
講師氏名 _____
講座総時間 _____ 時間 ※10時間以上
受講期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日
受講回数 _____ 回
実施場所 (実施団体名) 複数可 _____

- 認定講習のレポート 11 項目 (1 項目 400 字~800 字 様式 DL-B-R1~DL-B-R6)
※ 但し、E-ラーニングの場合、600~1000 字
 認定料振込領収書のコピー
 正会員 認定料 4,500 円 (AMWE C 会員 _____ 番) 非会員 認定料 6,000 円)
 受講証のコピー 11 項目
 実務経験証明書 (1 年間以上)

申請書・レポート送付先 一般社団法人日本医療福祉教育コミュニケーション協会事務局宛
〒736-0046 広島県安芸郡海田町窪町 10-10 (NPO 法人安芸ソーシャルサポートの会内)
事務局電話 082-824-7038 fax 082-821-0346

振込先 広島銀行 海田支店 普通預金 3 4 2 8 0 3 3
一般社団法人日本医療福祉教育コミュニケーション協会
【カタカナ】シヤ) ニホンイリョウフクシキョウイクコミュニケーションキョウカイ

上記書類を添えて、日本医療福祉教育コミュニケーション協会認定発達障害コミュニケーション中級指導者に認定頂きますよう申請いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名 (直筆) _____ 印 _____

(様式 DL-M-R1)

レポート

申請者氏名 _____

受講講座名 _____ 受講修了日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

以下の様式に以下の項目のテーマについて、キーワードを用いて、簡潔に述べよ。

(各項目 400～800 字程度) ※E-ラーニングシステムの場合、600～1000 字

1) 感覚特性と作業特性からの療育アプローチ (中森先生) _____ 年 _____ 月 _____ 日受講

レポートテーマ「感覚過敏のある方に対して、理解とそのアプローチの具体例を挙げ、簡潔に説明してください。」(キーワード: 個性、課題、環境、安心感、達成感)

2) 発達検査から読み解く臨床アプローチ (下妻先生) _____ 年 _____ 月 _____ 日受講

レポートテーマ「知能検査 (WISC-IV) の解釈を行う際のポイントについて述べてください。」(キーワード 困り感、全検査 IQ、言語理解、知覚推理、ワーキングメモリー、処理速度)

(様式 DL-M-R2)

レポート 申請者氏名 _____

3) 言語とコミュニケーションからの療育アプローチ (下妻先生) _____年____月____日受講

レポートテーマ「言葉の遅れが認められる子ども (幼児) と関わる際のポイントと具体例を述べてください。」 (キーワード、コミュニケーション態度、表出力、理解力、聞こえ)

4) ソーシャルスキルトレーニング・人間関係からの療育アプローチ 幼児期学齢期思春期
(井上先生) _____年____月____日受講

レポートテーマ「ソーシャルスキルトレーニングの発達障害児への必要性とその手続き (方法と手順) について書いてください。」

(キーワード: 特性、意欲、興味、自尊感情、現状把握)

レポート

申請者氏名

5) サッカー療育の実践と課題 (山本先生)

____年 ____月 ____日受講

レポートテーマ「 サッカー療育に関する以下の質問に簡潔に答えよ。」

① 世界で最も多くの人が競技しているサッカーの特徴は何ですか？

② サッカー療育におけるポイントが3つありますが、それは何ですか？

③ サッカー療育で期待される効果は何ですか？

④ サッカー療育は、どのような場所で実施するのがよいですか？

⑤あなたがサッカー療育をする時、どのような事に気をつけますか？

6) LD支援からの学習支援アプローチ (武隈先生・橋先生)

____年 ____月 ____日受講

レポートテーマ「読み書きに困難さを抱えた児童に支援をする際に①支援前に行うことと、②支援の際に配慮することをふまえ、どのような支援がかんがえられるか述べよ。」

(キーワードLD.アセスメント、つまづき、配慮、支援)

(様式 DL-M-R4)

レポート 申請者氏名 _____

7) リトミックによる感覚運動支援アプローチ(馬杉先生) _____年____月____日受講

レポートテーマ「療育におけるリトミック的なアプローチについて思うところを書け
(キーワード: 時間、空間、エネルギー、音楽(音)が語る(指示)をだす、多様性(変化))

8) 脳波異常・てんかん合併症例へのアプローチ(薬物療法を含む)(児玉先生)

_____年____月____日受講

レポートテーマ「自閉症に合併するてんかんについて以下のキーワードを参考にして書いてください」(キーワード: 二次性全般化発作、複雑部分発作、痙攣重積、てんかんによる事故を防ぐ、発作の観察)

(様式 DL-M-R5)

レポート 申請者氏名 _____

9) 強度行動障害と薬物療法へのアプローチ (岩崎先生・河野先生) _____年____月____日受講

レポートテーマ「発達障害児者の行動障害を防ぐためにはどのような工夫が大切かを簡潔に述べよ。」(キーワード: ジェントル・ケア、治療的信頼関係、「こだわり」の克服、薬の有効性、副作用を防ぐには)

10) 学校連携・学校支援を通じたソーシャルアプローチ (河野先生) _____年____月____日受講

レポートテーマ「学校の通常学級で発達障害児の支援をする上で、あなたならば、どのような工夫をするか具体例を挙げて説明せよ。」

(キーワード、環境整備、ルール、集中力、感覚、お手本)

(様式 DL-M-R6)

レポート 申請者氏名 _____

11) .社会資源の連携からみたソーシャルアプローチ（長島先生） ____年 ____月 ____日受講

レポートテーマ「あなたに関わっている発達障害の子ども・大人、その方を取り巻く環境の課題を抽出し、その課題の解決に向けての支援について、思うところを自由に書け」
(キーワード：ソーシャルサポート、課題、資源支援目標、福祉サービス)

12) 全体を通しての感想があれば、ご記入ください。(自由記載)